

わらび粉小屋



<http://digitalarchiveproject.jp/information/わらび粉小屋>



飛騨の東部、阿(あ)多(た)野(の)郷の内 19 ヶ村、東北部の下高原郷の内 7 ヶ村は明治初めまで米ができず、稗(ひえ)を主食としていた。これらの村の人々は豊富にあるわらびの根を掘って粉碎し、澱(でん)粉(ぷん)を作って売り、現金収入を得て暮しをたてていた。

この作業小屋は、益田郡阿多野郡中(なか)洞(ぼら)村(現高山市高根町中洞)から移築したもので、子(ね)の原(はら)高原から落ちる水を利用して水車を廻しわらび粉の採取期にはこの小屋に移住して(山居)作業をした。

説明板より



001_①遠景001



002_①遠景002



003_①遠景003



004_①遠景004



005_①遠景005



006_②近景001



007_②近景002



008_②近景003



009_②近景004



010_②近景005



011_②近景006



012_②近景007



013_②近景008



014_③建物・外周001



015_③建物・外周002



016_③建物・外周003



017_③建物・外周004



018_③建物・外周005



019_③建物・外周006



020_③建物・外周007



021_③建物・外周008



022_③建物・外周009



023_③建物・外周010



024_④水利001



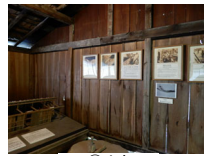
025_④水利002



026_④水利003



027_⑤内部001



028_⑤内部002



029_⑤内部003



030_⑤内部004



031_⑤内部005



032_⑤内部006



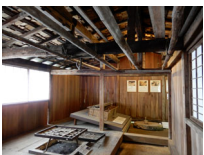
033_⑤内部007



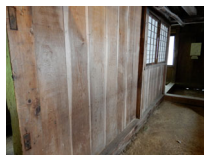
034_⑤内部008



035_⑤内部009



036_⑤内部010



037_⑤内部011



038_⑤内部012



039_⑤内部013



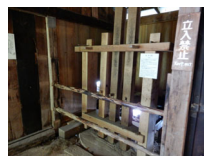
040_⑤内部014



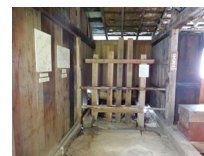
041_⑤内部015



042_⑤内部016



043_⑤内部017



044_⑤内部018



045_⑤内部019



046_⑤内部020



047_⑤内部021



048_⑤内部022



049_⑤内部023



050_⑤内部024



051_⑤内部025



052_⑤内部026



053_⑤内部027



054_⑤内部028



055_⑤内部029



056_⑤内部030



057_⑤内部031



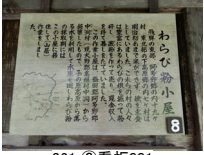
058_⑤内部032



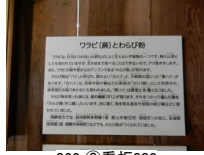
059_⑤内部033



060_⑤内部034



061_⑥看板001



062_⑥看板002



063_⑥看板003



064_⑥看板004



065_⑥看板005



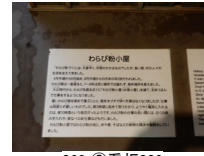
066_⑥看板006



067_⑥看板007



068_⑥看板008



069_⑥看板009



070_⑥看板010



071_⑥看板011



072_⑥看板012



073_⑥看板013



074_⑥看板014



075_⑥看板015